

フェアトレード普及図る

浜松市や静岡文化芸術大などは30日午前10時から、開発途上国の生産品を適正価格で取引するフェアトレードの普及や将来の可能性について理解を深める「フェアトレード全国フォーラム2019」を中区の同大で開く。

フェアトレードの教育的効果などをテーマにしたパネル討論、社会や環境に配慮した「エシカル(倫理的)消費」など6テーマに分かれて学習する分科会のほか、エシカル商品の展示販売、ファッションショーを行う。

30日、中区で全国フォーラム パネル討論やエシカル商品販売

定員は先着300人。希望者は同フォーラムの専用ホームページから申し込む。

同市は17年11月、国内4例目のフェアトレードタウンに認定された。18年2月には同大がアジア初のフェアトレード大学の認定を受けている。市は全国フォーラムを通じて地産地消や環境に配慮した森林経営の国際基準のFSC認定、食品ロス削減などを含むエシカル消費を啓発し、SDGs(持続可能な開発目標)の達成につなげたいとしている。